



学術情報センターにて

# 「等身大のメッセー」

文系、理系、クラブ、留学生の代表として4人の学生が集まってもらい、市大の魅力や大学生活の中から得たものなど、現役学生の目線で大いに語り合ってもらいました。

## 座談会

### 「尊敬できる人? たくさんいますよ」

クラブ代表  
田村真莉子(経済学部 3年生)  
大阪府出身。全日本学法総合選手権大会優勝、全日本学生個人選手権大会3位という輝かしい記録を持つ。日本学法部を最優秀クラブ賞受賞に導いたマドンナ的存在。



### 「学生と先生が とても親しいネ」

留学生代表  
ハンヌ・クルンサアリ  
(経営学研究科 後期博士課程)  
フィンランド出身。ヨエンスー大学(フィンランド)、アバディーン大学(スコットランド)、ミドルセックス大学(イングランド)、北海道大学で学び、現在は大阪市立大学で環境会計学を研究中。



田村/私は経済学部の学生ですが、実は入学した頃はあまり経済に関心がなかったのです。授業中、先生「これって役に立つんですか?」って聞いて「ちやうど」ともあるけど(笑)。「でも先生は一人一人が賢い消費者になることが社会全体が良い方向へ向かっし、変えることができるんだよ」として経済を丁寧に教えてくださいました。今はマクロ経済学にもとても興味を持っています。

北本/僕もマクロ経済学にはまってますね。同じ1億円を公共投資するにしても「どこに」といって形で投資すれば効果的か、という世界経済の大きな流れを勉強できて面白いです。

長村/私は生活科学部で建築を学んでいます。市大のゼミ、オハウスの設計にも参加しました。今はゼミで、保育施設の住まい環境を勉強しています。建築やインテリアの勉強を

### クラブやサークルが 教えてくれるもの

長村/田村さんは日本学法をされているんですよね。日本学法ってどんな競技なんですか?

田村/柔道着を着て、剣道の面と胴をつけ、手にはボクシングのグローブをはめて、面と胴に対する攻撃で闘うんです。日本学法部は私が入部した時には3人だけ、頑張って勧誘して今は30人ほど在籍しています。昨年は最優秀クラブ賞をいただきました。

北本/劇団力オスです。団員は同じく30人くらい。長村/生活科学部の学生もいますか?

北本/いますよ。舞台衣装を作ってもらったりしています。工学部の学生には舞台の図面をひいてもらったり。演じる芝居には、例えばある数学の法則を発見してしまっただけに世の中の仕組みがすべていくというようなものもあって、その芝居の主人公を理学部なんかの人が演じてと上手いですよね。総合大学ならではの劇団です。

田村/見てみたいねその芝居、というのは私高校の時、数学が大嫌いだったんです。それで、

しているところを歩いていたらカフェなんかに入った時でもどんななサインの家具を置いて、どんな照明を使っているかとか建物や内装が気になりますね。ハンヌさんは北欧出身ですが、家具には興味ありますか?

ハンヌ/家具にはあまり興味ないですね。残念だけど、北欧の家具については長村さんの方が僕より詳しいと思う(笑)。僕は環境会計学について「企業の環境」

ストや業績についての情報を収集して分析しています。平日はほとんど大学にいます。週末には入部、クラブに通ったり、大学に近い長居公園でジョギングをして汗を流した

大学に入ったから数学を勉強しなくていいと思っていたら必修に数学が(笑)。ぜんぜん理解できなくて、これじゃないか、と思い先生に研究室を訪ねて教えていただいたんです。そして、だんだんわかってきた。大学の先生に数学をあんまり徹底的に教えてもらえないと(笑)思いませんでした。すごく嬉しかったし、数学も嫌いじゃなくなりました。行列とか微分積分とか基礎数学ですけど、興味深く学べました。今でも、たまに経済に関することわからないところがあったらその先生に教えていただいています。

ハンヌ/市大は先生と学生の関係がとても親密ですね。田村さんのように個別に勉強を教えてもらえたり、また、ゼミの先生を囲んで一緒にレストランに行ったり、キョロロパではそういうこととはなからたので驚きました。

総合大学だからこそ いろいろな出会いがある  
北本/先生とももちろんですが、劇団をやっていることもあって、人とのつながりの大切さを実感

り。授業の合間には、この学術情報センターのB1で新聞を読んだり、インターネットをしたり、母国フィンランドの情報も得られるのでよく活用しています。

田村/私も授業の合間によく学術情報センターに来ますよ。ビデオでTOEICの勉強をしたり、映画や音楽を鑑賞したり。

長村/グループ数名で勉強できる部屋があって、テスト前に友だちと集まって教えあったりとかね。楽しく利用しています。



### 「学部を越えた “つながり”を実感」

文系代表  
北本正憲(経済学部 3年生)  
和歌山県出身。経済学を勉強するかたわら、約30名が所属する劇団力オスの座長を務める。将来は金融関係の仕事につき、可能なかぎり芝居も続けていきたいという行動派。



長村/生活科学部は人数が少ないので、みんなが友だち。課題の提出、直前にはみんなまで教室で徹夜することもある。結果が固いですね。作品は一人一人へ出てプレゼンテーションするんですが、プレゼンを繰り返すうちに自分の考えや表現を他人に説明する力がついたと思います。先生のきついダメ出しでガクンつてなるんですけど(笑)。でも、友だちと一緒に、手にも心にも残るものを作ってきたので満足しています。まあと卒業後も多くの友だちとつきあっていくだろうと思います。

### 「授業で身についたのは “表現力” かな」

理系代表  
長村和泉(生活科学部 4年生)  
兵庫県出身。生活科学部で建築、インテリアデザインを学ぶ。日常生活の中からも建築のヒントを学び取り、課題提出前には友だちと教室で徹夜もしたというガンバリ屋さん。

